阿知須町広報

昭和37年7月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
印刷 宇部新聞印刷所

No.128 この広報紙は毎月1回各ご家庭にもれなく配布

公明選挙
キレイな政治は
公明選挙から
標語

今月の税金は
固定資産税の第2期分
国保保険税の第2期分
年金保険料の7月分

阿知須時間
マツひどい！
知ってるくせに
知らぬ顔
ワカッチャイルケド

農業基本法は！農業の憲法です

農業本法がいよいよ審議されようとしているのに、どうも懐ろ具合がよくならないことや、都会では神武景気だとか岩戸景気だとかいわれているのに、農村の暮しはどうもよくならない、何か農業のやりかたが間違っているのではかろうか、というような疑問を抱いてこのような今の農業を立て直して希望のもてる産業にしよう！という声が4年位前に皆さんの中からでてきました。その声が認められ今度農業基本法というかたちでよりよく実を結んでいるのです。

ですから、農業基本法は、今の農業を立てなおすための農業の進むべき道しるべということができます。そしてこれから国が行なうすべての政策はこの法律が中心になって進められることになりますから農業の憲法ということができるわけです。然し農業基本法さえあればだまっていて農業がよくなり安心できるというのではありません。農業基本法は農業の進む方向をはっきりさせたもので、案でいうなら大黒柱だけですから、この家に合ういろいろな建具は、これから予算や法律などを用意し手を加えて肉づけしていくことになっています。農家の皆さんも、これからできる関連法や予算については、今迄以上に注意して見守らなければなりません。

農業の行きづまりと収入のひらき

農業のたてなおしはどのようにしてやるのでしょうか。農業基本法は次のような見方をしています。農業がゆきづまっている一つの理由としてわが国が、世界中で一二にかぞえられる程、経済がのびているのに、その中で農業と他産業との釣合いがとれていませんこのままでは農業が置きざりにされて遅く傾向があるということです。農業で働いている者と他の産業で働いている者の収入を一人づつ比べると、農業では一年間に8万円位ですが他産業では29万円ぐらいになっています。戦後食糧の足りなかったころはうどにかつりあいがとれていましたが、今では農業は総生産分の一割ぐらいの収入だといえます。

このようなひらきは後ますます大きくなりそうだという見とおしなのです。どうしてこのような間きができるのでしょうか。それはわが国の農業は米、麦を中心として発展し、収入のうち6割を稼いでいるのですが、この米や麦は一年に一回しかとれませんしそれ（一反歩）の収穫も10年前とくらべてだいたい三割位増えただけです。耕作している面積も昔とあまり変っていませんし、値段もそれほど変っていません。最近の農業生産ののびは一年間に三、四％位なのですが他産業では食べものをつぎこんで設備をやし生産をすれば何倍もの能率をあげることができます。それに加えて農業は天候によって収穫がすぐ左右されますが工場では殆んど天候の影響はうけません。そこで他産業では農業より生産ののびが四倍位になっていますから収入も多くなり差が大きくなる訳です。

少ない人で高い生産を

それではどうすれば農業はうまくいくのでしょうか。つまり少ない人手で多くの生産をあげることができれば働く人の収入は増える訳です。人が多ければ面積を増やすか面積を増やすか、面積を増やす事がむずかしければ少ない面積でも収入が上るのも考えることにすればよいことになります。勿論これは言うのはやさしいですが、なかなかむずかしいことです。然しいま農業で一生懸んだ経営やその飼料などに重点をおき農業をやろうとしています。

農業基本法は！！

歩んでいる人達です。そこで気をつけねばならぬ所しいきことが二つあるのです。一つは働き手が毎年減っている事。

需要の多いものを作る

もう一つの所らしいことは、農産物に対する食べる方の変化です国民の収入がどんどんふえつづくのに伴って生活程度もよくなり米麦を主として食べていたものが肉、牛乳、バター、チーズ、卵、果物、高級さかい。というものに移りつつあります。いま日本人の食べているカロリーは、二千二百カロリー位ですが、西欧先進国は三千カロリー以上が多い。この点からみれば貧しものも外国ずみに変化していくでしょう。そこでこれからは消費者が食べてくれそうなもの、買ってくれるものをだんだん作るようにしようというのです。そして蔬菜や果樹、高級さかい、畜産原料、畜産物のほうへ

適地適産で収入をふやす

しかし、米はようやく足りるようになってきましたが、小麦は国内でこれを二倍近くも輸入しています。例えば米について見ると、ただこれからはなにがなんでも、一粒でも米を作る増産主義でなく米に選して作りやすい所と、米以外には作りやすいという所を中心に増産しようという訳で要するに適地適産で生産地を作ることになる訳です。そのためにはいろいろな準備や、計画が行なわなければなりませんがそれには何よりも農業技術の水準を飛躍的に高度化する必要があります。

生産と価格に対する援助

農家が作ったものの価格も割に合うようにきめたり、農作資金になるべくように、価格安定のため調整についても力を入れることになっています。また生産物の取引についても部分的な共同経営、畜産や果樹だけの経営を協同でやる部分的な共同経営などいろいろあります。思いきって会社にしたり組合を作る農業法人についても、農業の発展のために経営者の相談役夫を募集し援助しようということになります。

しかしこのようにいろいろ生産に対する手をうつにしても急にはできるものではありませんから、相当の時間をかけてその目的が達せられるまでは政府は種々援助や保障を加えて不安のないようにする気づかいが農業基本法の精神となっています。

必要な予算を確保

もう一つ重要なことは政府はいろいろな施策をするために、必要な予算について確保することを義務づけた点も、今までにない積極さが表明されているのです。

農地信託ができる

農地の移動についても面倒がないようにしたり、経営面積の制限もはずしたりして、農地の信託ができるようにしたり、輸入農地信託制度ができて、農協にあずければ不在地主にならずに農地を自分のものにする事もできますし安心してほかの人に耕作もしてもらえます。農協に頼んで売ってもらうこともできるようになります。

農業に残る人、出ていく人

これからの農業を背負ってたつ立派な人が、希望をもって残れるようにしなければなりません。教育や研究に力をこれるようになります。若い人たちがみんな農業を離れて他産業に行ってしまうと農業がそっぽ向いた手が多くなって農業の繁栄も期待できません。そこで農業をもっと合理化して農業技術を積極的に導入しつけ方法が考えられています。

就業人口の見とおし

農業で働く人、農業就業人口については、どのように後なるでしょうか。いまわが国の総人口は九千四百万人位なのですが、これから増えるとは考えられません。教育の

夏休みの十戒

夏休みは万物ことごとく伸び盛り期です。夏休みの意義は、こういった自然のもとに子どもをかえし、いつそう丈夫な身体の持主になってもらうことです。そこで保健の面について、夏休み中の十戒をまとめてみました。

1、事故　子どもの死因の第1位は事故死です。しかも夏どきの事故死の第1位は水死です。水泳は早朝、夜間、食後、入浴時をさけましょう。

2、危じ オモチヤ　ロケットやミサイルなどに類したあそび、弓矢や手製剣あそびなど、おさない子どもにはきわめて危険です。

3、きたない手　水あそびやどろんこあそびが禁ばれる季節です。食前の手洗いは必ず励行すること。それには親が率先して範を示すことがいちばんです。

4、白米食　三度三度に白米食ビタミンBの足りなくなることは必至です。強化米をたきこむとか、日に一回は必ずパンにするとか考慮がほしい。

5、暴飲不摂　大人でも同様ですが少し塩かげんを強くします。食事をかえたり、食たくを庭先や緑先にうつしたり、気分の変化をねらうのも一法です。

6、軍食　子どもに間食は不可欠だといつても、ジュース、サイダーではたいしたタシにはなりません。パンメン、ドウナツといつた腹ごたえのあるものに工夫を

7、夜ふかし　まし暑いというので何時までも起きていてはドクです。早く人が前に、蛙くカラスの行水式の入浴とか、早くびから下の足洗を習慣です。

8、余分な昼寝　昼寝がよいからといつても、一年半以上だつたら一時間以上けかえつて、夜の寝つきをわるくします。昼寝から起きたらゆかいおしぼりで上半身をふく。

9、寒冷え　暑いからといつて風のふきこむなかで寝るのはいけない。腹巻きは着実につけること。子どもはよく蹴こなつて寝ますが、左右どちらの向きでも害はない。

10、つかれ過度　登山や海水浴など楽しいものですが、つかれが二日目にもおよぶようだつたらドク。低学年では日のしずまないうちに帰宅または投宿のこと。

豆知識

☆わか国の水泳の起源

七百年前の鎌倉時代は流派流または海泳流といつたのがいちばん古い泳法。これはカエル足を基調としたもの。ついで上杉清子の家来の安田孫兵衛が考案した神伝流のほか、徳川時代になつて各藩とも水泳を武術として奨励した結果、水府　向井、小堀、岩倉　観海の各派が生れたが、大体カエル足とアオリ足を基調とし、抜き手、のし、巻き足などを加えたもの。

☆花火の開祖

七色変化や仕掛け花火の開祖は鍵屋弥兵衛＝1658年＝といわれる。郷里大和国（奈良県）から江戸へ出た彼は、幕府鉄砲方ののろし打あげをみて、おもちゃ花火をつくつたのが享保2年（1717年）。玉屋というのは伊屋ののれんわけである。

☆アイロンの温度

水を一滴たらしてみる。

⑥ジュツと音がすると130度、アセテート、ナイロン、ビニロンのブラウス、スカート

⑧チユツと音がすると150度位、絹、レーヨンのブラウス

⑩チシツと音がすると200度位、木綿のブラウス、ワンピース

47回 短歌会作品（原不同）

旦　岡本松枝

海くに蜃楼のうすれゆくしき浜子の彩面に夕日射し込む

北祝　原田英子

暗夜死れし畳岩に耐えて朝霧を選ずふどうのかずかにゆるる

岩上　上重朝子

餌食に事かく合目を岩が庭に芳香だよう白百合の花

飛石　砂村ヤス子

病む友の家のめぐりは暮れ残り庭根に赤しほけのつぼみは

亜集　原田陽子

新しき道ひらけポートの浮びいる前に青し万年の池

飛石　河崎幾代

田の面に業がら燃ゆる火あかあかと灯さぬ部屋の蛍らし居り

寺河内　狩重きぬ

空の湯車より見えし山峡のつつじは真下に今盛りなり

北祝　大野絹枝

老いし父の汚れし顔をてらしつつ想ガラ掘く火のひろがりてゆく

浜　正司ウメノ

雨に濡る土手道遠くナイロンの色さまざまに寒さをくるる

浜　景枝英雄

心ゆらぎしひと日の寄よシグナルに従い渡る附に海が居り

◇投稿を歓迎します。締切は毎月二十日。

◇送先　阿知須短歌会（是枝英雄）宛

ママさんパトロール

（夏休みのこども指導）

☆自作博しみ（自然に親しんだ話）

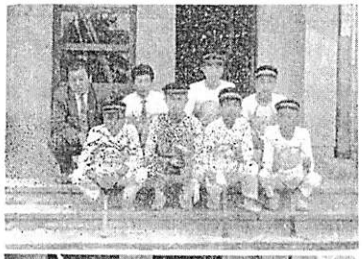
「ママが病いからとかたいよりとかに、大自然によれたいからを」

野球、庭球、剣道、ソフトが優勝

健斗型し卓球、バレー、バスケットは惜敗

6月12日、青葉郡中体頭中部の春季球技大会が本町中学グランドで午前8時より開催されました。本町の中学生の活躍は……

野球部は秋穂中を5対1で破り、穂中を3対0、小郡中を3対1、秋しました。また女子バレー部は一回戦で大内中を15人対8で破り優勝し、10月大内中学校に於いて行われた団大会で優勝しました。



一回戦で秋穂中を14人対4、優勝戦で大内中を15人対8で破り優勝し、庭球部はリーグ戦で大内中を3対0、小郡中を3対1、秋穂中を3対1で破り、全校へ勝越し優勝、女子ソフトボール部は秋穂中を2−1で破り、優勝戦に出場したものの小郡中に2−0で破れ、男子バレー部は一回戦大内中に、バスケット女子は大内中に、男子は秋穂中に破れ、男子卓球部は男子が秋穂中に破れ、女子は秋穂中と大内中を2−0で破り優勝戦で2−1で惜敗しました。又剣道部は6月

慶弔録

出生

父　精病　出産　部落

橋本　正義　長男　敦義　小西

西田　雅雄　長男　達宏　細北

細田　信孝　二女　静代　長長

松元　嘉孝　二女　静代　赤迫

中礼　三郎　長女　富美子　中村

大窪　順吉　長男　宏　長長

上野　信幸　長女　啓子　小南

松田　朝雄　二男　仁　旦西

藤永　幸昭　二女　清美　旦東

婚姻

夫　繁原　洋　東京都

妻　原田キヨ　岩上

夫　上野一秋　岩辻

妻　金子登志子　山口市

死亡

氏名　死亡年月日　住所

辻岡　操　6月1日　岩辻

長谷武一　6月23日　70　小西

野村マツ　6月23日　92　北祝

中原カノ　6月13日　73　秋川

青村久市　6月23日　70　飛石

夫　原田　金治　砂二

妻　杉崎キミノ　徳山市

夫　東　吉人　西条

妻　岡本　節子　西条

夫　岡村　寅治　宇部市

妻　浦本　幸雄　東部

夫　細田　繁雄　宇部市

妻　細田キヨ　宇部市

夫　藤井　昭作　徳山市

妻　藤井　悦子　西条

夫　上野　新夫　宇部市

妻　上野　登美子　東部

夫　福田　吉谷　西条

妻　福田　幸子　徳山市

夫　岡村　鹿雄　山口市

妻　林　孝子　徳山市

通信　今月の行事予定など

町

7月13日　心配ごと相談所開設

7月15日　町民運動会

7月29日　町内野球大会

8月4日5日　子供会ソフトボール大会

8月5日　県予選郡球大会

学校

井関小学校

11日　学力テスト

18日　父兄会

20日　終業式

21日〜22日　5・6年水泳指導

阿知須小学校

11日　学力テスト

13日　貯金日

15日　参観日

20日　終業式

中学校

11日　学力テスト

13日　貯金日

計算力テスト

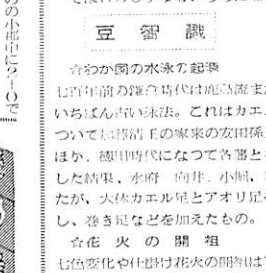
16日17日18日　水泳講習

20日　終業式

23日　中体連吉佐大会

コンナ捨てかたはいけません

もうちよと氣をつけて



嘆かわしいことです。ビニールパックが出来てこの年、あらゆる面で阿知須町は便利になり、環境も衛生面では特によくなつたが、まだまだ工夫がたりません。一人の不心得な人がいる為に部落の代表となる部落の人たちは良い気持ちしないでしょう。もうチヨツト気をつけて、お互いに、きれいに楽しく整頓しておきましょう。

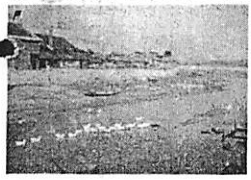
①焼却可能なもの

②焼却不可能なもの（ビン、セトモノ、古金物）

③腐敗物（魚の腹など）はビニール袋に入れて

それぞれに分けてキチンと捨てかたはいけません

河川をキレイに!!



非関川は私たちの町に重要な役割を果しています。然し私たちは可愛がりようが足りません。ゴミを捨てたり、ビンを捨てたり、果てはゲランを流したり……

いくら腰屋工事がリツパでも、私たちみんなが美しく清掃しなければ、町の繁栄も台なしです。

井関川を見れば、私たちの町の公衆衛生観念も一目で解ります。

お互いに気をつけて、毎日少しづつキレイに美しくしましょう。

細田南区子ども会が

県から表彰を受けました

夏休ラジオ体操会指導者作成、区内廃箱撤去、雨一道路の作業、荷月開催の親子会など種の活動によつて大変実績をあげている細田南区子ども会が、7月五日の子どもの日を選定して、県教育委員会県子ども会育成協議会、県連合婦人会から表彰を受け、六月七日、表彰状、記念品の授与式が細田公民館で行われました。

なお、この日県委員とともに中尾町長さんからも賞状と記念品が贈られ、細田南のよい子のみなさんは、この二重の表彰に、喜びと感激をもつて、これからもみんな仲よく子ども会活動をすすめますと力強く誓いあいました。